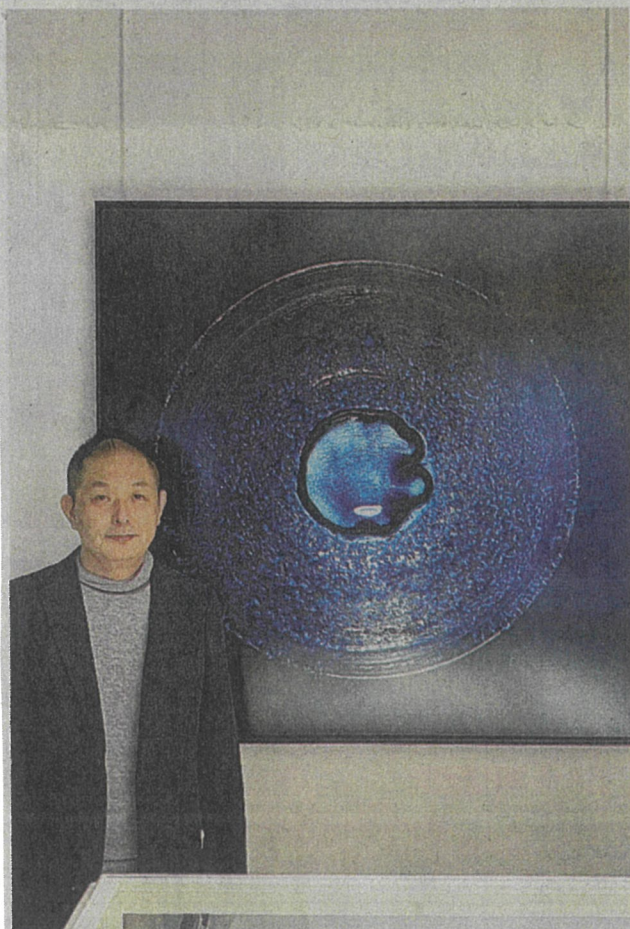


仏美術協会会員に認定

石垣焼窯元の金子さん夫妻



金子晴彦さんと茶器の写真パネル＝フランス国立ギメ東洋美術館

フランス

【久高泰子通信員】石垣焼窯元当主、金子晴彦さんと、その創作を傍らで支援してきた聖代夫人がこのほど、フ

ランスで最も権威ある「ソシエテ・ナショナル・デ・ボザール（フランス国民美術協会）」から正会員に認定された。「フランス外に在住のアーティストが推薦され、会長はじめ全役員一致で会

員として迎えらるという栄誉を頂けたことは、とても光栄です」と、夫妻は喜びを語った。

金子夫妻はこれまで空間芸術大作、「フライングアウェイ」などの受賞作品を共同制作している。

金子さんの茶器「碧海油滴大目茶碗」「瑠璃油滴天目茶碗」はフランス国立ギメ東洋美術館、日本セクションのギャラリーに常時コレクションとして2018年から展示されている。

同館には国際的に活動するフランス人写真家、ジャン・バチスト・ユイン氏が撮影した「瑠璃油滴天目茶碗」のパネルも展示されている。